



プレスリリース

2019年7月8日発表

NPO 法人日本バリアフリー協会

## 第16回ゴールドコンサート本戦の出場者が決定

**日本、韓国、台湾、フィンランドから選ばれた障がいをもつミュージシャン 11組が頂点を目指す！**

NPO 法人日本バリアフリー協会（代表理事：貝谷 嘉洋、所在地：東京都千代田区、以下日本バリアフリー協会）は、2019年10月14日（月・祝）に東京国際フォーラム ホールC（最大1,502席）で開催する第16回ゴールドコンサート本戦の出場者、特別ゲスト、協賛など、開催・運営に関する体制を決定しました。

ゴールドコンサートは、障がいを持つミュージシャンの方々にその音楽性を競っていただくとともに、障がい者の能力や可能性の高さを広く知らしめる、「障がい者の音楽コンテスト」です。海外を含めた全国各地で開催される各地大会（予選）と音源審査を突破した国内および海外の約10組のミュージシャンが、東京国際フォーラムの大舞台で開催される本戦で楽曲を披露しグランプリを目指します。審査員には湯川れい子氏（審査員長）をはじめ音楽業界で活躍されている方々をお迎えし、本戦のグランプリ受賞者がメジャーデビューするなど、注目も高まっています。

16回目となる本年は、大阪、沖縄、ソウルで予選大会を開催し、応募総数は予選大会と音源応募と合わせて104組の中から11組が選抜されました。本年は日本・フィンランド外交関係樹立100周年の記念年であり、その一環としてフィンランドから障がいをもつミュージシャンを招へいします。ゴールドコンサートは、来年に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて芸術の側面から盛り上げていくために、世界各国から参加してもらい引き続き国際性を高めていきます。

特別ゲストに、コザ（沖縄市）のハードロックバンド「JET」を中心に沖縄県内外で活躍するKAZUFUMI、ゲストに15周年ゴールドコンサートでグランプリを受賞した口石和人が出演します。演出、審査員などステージを彩る顔ぶれ、後援や助成、また多くの法人・個人からの協賛・協力などコンサート成功に欠かせない支援体制も決定しています。

さらに7月1日（月）よりチケットぴあ及びコンサート事務局においてチケットの一般販売を開始いたします。合理的配慮として例年同様の車いす席の多数設置やテキスト版プログラムなどを実施するほか、磁気誘導ループにも対応し、聴覚障がいのお客さまにも楽しんでいただけるよう取り組みます。

日本バリアフリー協会では、ゴールドコンサートなど音楽を通して障がい者の自立と社会進出の拡大をめざしてまいります。



(敬称略)

➤ **第16回ゴールドコンサート本戦の概要**

日程：2019年10月14日(月・祝) 15:30開演(14:30開場)

会場：東京国際フォーラム ホールC(東京都千代田区丸の内3-5-1)

実行委員長：貝谷 嘉洋(プロフィールは別紙3を参照)

審査員長：湯川 れい子(プロフィールは別紙3を参照)

副審査員長：吉岡 正晴(音楽評論家)

審査員：阿部 恒世(WaWaWa 元編集長)、工藤 由美(音楽ジャーナリスト)、小久保 隆(環境音楽家)、萩原 岳(ナレーター、宣伝販売促進コンサルタント、日本工学院専門学校 非常勤講師)、花村 ひろ子(有限会社 エフ・エム・ジー 会長)

ウェブサイト：<https://gc.npojba.org/>

公式 Twitter アカウント：@Gold\_Concert

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/goldconcert>

➤ **出場者・特別ゲスト・ゲスト**

出場者：予選大会、音源審査を通過した11組

特別ゲスト：KAZUFUMI(プロフィールは別紙2を参照)

ゲスト：口石 和人(プロフィールは別紙2を参照)

➤ **チケット(2019年7月1日(月)より発売開始)**

チケットぴあ(0570-02-9999 Pコード:156-567)、ゴールドコンサート事務局

全席指定 SS席 4,000円、S席 3,500円、A席 2,000円(高校生以下無料)、車いす席 2,000円

※無料席・車いす席・磁気誘導ループをご希望の方、補助犬をお連れの方は事前に事務局までご連絡ください。

※必要な方介添者1名無料、※手話通訳、パソコン文字通訳あり

➤ **後援、協賛・協力(法人のみを記載、2019年7月7日現在)**

後援：厚生労働省、文部科学省、フィンランド大使館、東京都、千代田区、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人視覚障害者支援総合センター、全国自立生活センター協議会、全国特別支援教育推進連盟、社会福祉法人鉄道身障者福祉協会、一般社団法人日本筋ジストロフィー協会、公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛：公益財団法人オリックス宮内財団、関西学院大学、キッコーマン株式会社、国際ソロプチミスト川崎、コニカミノルタジャパン株式会社、株式会社コヤマドライビングスクール、大同生命社会貢献の会、東京西ロータリークラブ、日本信号株式会社、ノーベルファーマ株式会社、パイオニア株式会社、パルミキ、メガネの三城、株式会社フォーシーズ、有限会社フジオートFUJICON、三菱商事株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、医療法人和楽会(50音順)



**協力**：株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク、江南障害者福祉館 Active Art、関西学院大学同窓会東京支部、株式会社京進、クレセント経営研究所、NPO 法人サポートセンターケントミ、渋谷ズンチャカ！、一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局、スポーツニッポン新聞社、NPO 法人 とっておきの音楽祭、日本オラクル株式会社、公益財団法人日本ケアフィット共育機構、NPO 法人日本バリアフリー政策研究所、パンローリング株式会社、株式会社フジテレビジョン、株式会社 0 段差、株式会社メディカルフォーラム、めびうすの WA、六本木ふるめん(50 音順)

**ポスター制作**:e・k STUDIO

**補助事業**：公益財団法人 JKA

#### ➤ ゴールドコンサートの特徴

- ・ 障がい者が主体

主催のNPO法人日本バリアフリー協会の代表理事、貝谷嘉洋は重度の筋ジストロフィーであるのをはじめ、障がいをもつ当事者が主体となり運営しています。

- ・ 国際大会

全世界の障がいをもつミュージシャンに出場資格があります。毎年、韓国で行われる障がい者の音楽コンテストの選抜者やアジア諸国をはじめ各国から出場しています。

- ・ 合理的配慮

手話通訳、パソコン文字通訳、車いす席の多数設置など必要な配慮を行っています。

- ・ メディアへの掲載・放送多数

ほぼ毎回、大手新聞、主要テレビ局にとりあげていただいています。

#### ➤ 日本バリアフリー協会について

NPO法人日本バリアフリー協会は2000年4月に設立された、音楽を通して障がい者の自立と社会進出の拡大をめざす活動を行う特定非営利活動法人です。ゴールドコンサートの企画運営など障がい者の音楽支援を展開しています。また、日本初の障がい者が主催するエンターテインメント事業、GC グランドフェスティバルも開催しています。

#### お問い合わせ

報道関係のみなさま

広報担当：後藤/高橋

TEL：03-5215-1485 FAX：03-5215-1735 mailto：pr@npjba.org

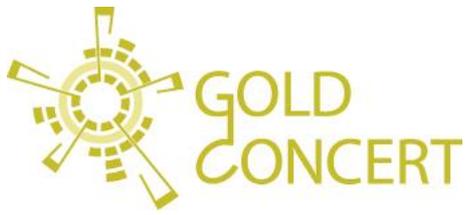
一般のみなさま

ゴールドコンサート事務局

TEL：03-5215-1485 FAX：03-5215-1735

本プレスリリースの URL

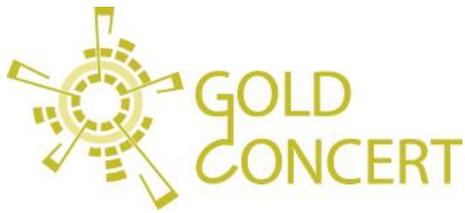
<https://gc.npojba.org/16/pr/release/07-08>



(別紙 1、敬称略)

## 出場者

出場者名	曲名	編成	障がいの種類	地域
神響	話すだけで	ギター・コーラス、 ボーカル	視覚・精神、内部	沖縄
Harmony With You	FOREVER LOVE	ボーカル、ピアノ	視覚、その他	大阪
キム・ジヒ	Rylynn	ギター	知的	韓国
栗山 龍太	リアルビクトリー	ボーカル	視覚	神奈川
盲目のシンガーソングライター haru.	素粒子	ボーカル	視覚	京都
若渚	空	ボーカル、ギター ほか	視覚	愛知
笙 YUU	令和の煌	笙ほか	知的・発達・内部	宮城
張 哲瑞	張 哲瑞	ボーカルほか	視覚	台湾
真北 聖子	花びらを誘って	ボーカル	肢体	宮崎
豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」	海の太鼓	和太鼓	聴覚	大阪
MC KOO	Maailmalle feat. Lossi T & Lilli Aro	MC ほか	知的・発達	フィンランド



(別紙 2、敬称略)

## 特別ゲストについて

### KAZUFUMI プロフィール

大学時代、アマチュアバンドで活動中「紫」のキーボーディスト「ジョージ紫」の目にとまり、「ジョージ・紫・プロジェクト」に加入。約 3 年間、コザ(沖縄市)のライブハウスを中心に米軍基地、県内外で活動。

「タケカワユキヒデ」沖縄ライブにてジョージ紫とともにバックを務める

日本を代表するドラマー「そうる透」をドラムに迎え、「ジョージ・紫・プロジェクト」でNHK ラジオライブで共演。

そのライブ音源“BURN”がアルバム “オキナワン・ハードロック・レジェンドリー”に収録される。

県内外の様々なアーティストのライブやレコーディングのサポート、リゾートホテルでの演奏活動により、ロック以外のジャンルも披露する。

米軍基地内のバンドに加入し約 2 年間様々なライブイベントに出演。

「マリーウイズメデューサ」のヴォーカリスト「喜屋武マリー」のバンド「マリーズバンド」に加入し、アルバム “アジアンローズ”に参加、沖縄市の野外イベント ピースフルラブロック・フェスティバル、東京上野水上音楽堂等、多くのイベントに多数参加。

「マリーズバンド」脱退後 ピースフルラブロック・フェスティバルに「高崎晃(ラウドネス)」「影山ヒロノブ」をゲストに迎え、「ジョージ・紫・プロジェクト」で出演、

2010 年4月 コザ(沖縄市)の ハードロックバンド JET 加入。

現在は JET を中心に県内外で活動中。

## ゲストについて

### 口石 和人 プロフィール

1968 年 3 月生まれ。現在 51 歳。

中学 2 年生の頃に近所のレコード屋で¥5000 のフォークギターを買いそこから音楽にのめり込む。

高校生の頃にはバンドを組みライブハウス等で歌いそのまま社会人になり仕事をしながらライブハウス、酒場等を全国展開で廻る。

2008 年、転落事故により脊椎を損傷して車椅子生活を余儀なくされるもしぶとく歌い続ける。

2016 年、褥瘡になり敗血症を患うも、またまたしぶとく歌い続け、2018 年、15 周年ゴールドコンサートにてグランプリを獲得、現在に至る。

不屈の精神を持つ男、口石和人。宜しくお願い致します。



(別紙 3、敬称略)

## 主催関係者について

### 湯川 れい子(審査員長) について

音楽評論家・作詞家

昭和 35 年、ジャズ専門誌『スウィング・ジャーナル』への投稿が認められ、ジャズ評論家としてデビュー。その後、17 年間に渡って続いた『全米 TOP40』(旧ラジオ関東・現ラジオ日本)を始めとするラジオのDJ、また、早くからエルヴィス・プレスリーやビートルズを日本に広めるなど、独自の視点によるポップスの評論・解説を手がけ、世に国内外の音楽シーンを紹介し続け、今に至る。作詞家としては、代表的なヒット曲に『涙の太陽』、『ランナウェイ』、『ハリケーン』、『センチメンタル・ジャーニー』、『ロング・バージョン』、『六本木心中』、『あゝ無情』、『恋におちて』などがあり、ディズニー映画「美女と野獣」「アラジン」「ポカホンタス」「ターザン」などの日本語詞も手がけている。著書には「エルヴィスがすべて」(ブロンズ社)、「湯川れい子の幸福へのパラダイム」(海竜社)、「幸福への共時性(シンクロシティ)―もっと豊かにもっと健康に生きるための 26 章」(海竜社)、「幸福への旅立ち(マハーサマーディ)―人生を完璧なものにするための 20 章」(海竜社)、「湯川れい子の今夜もひとりかい」(共同通信社)等があり、2004 年 10 月には、聖路加国際病院名誉院長・理事長の日野原重明氏と共に、音楽が持つ根源的な力を医学、精神、芸術等様々な角度から分析し、分かりやすく解いた初の対論集『音楽力』(海竜社)が発売されている。2016 年 1 月に 80 歳を迎え、音楽評論 55 年・作詞家 50 年を記念し史上初！コンピレーション CD「音楽を愛して、音楽に愛されて」洋楽セレクション(発売:ユニバーサルミュージック合同会社)・邦楽作詞コレクション(発売:ビクターエンタテインメント)2タイトルが発売された。また同タイトルで音楽との軌跡をたどる1冊として、Special Issue 湯川れい子 80th 記念ムック本が、ぴあより発売された。

### 貝谷 嘉洋(実行委員長、制作・総指揮)について

NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事

1970 年岐阜県生まれ。10 歳の時に筋ジストロフィーと診断され、14 歳で自立歩行不能となる。93 年関西学院大学卒業後アメリカに単身渡る。99 年カリフォルニア大学バークレイ校ゴールドマン政策大学院修了。2000 年にジョイスティック車によるアメリカ 1 周を敢行した後に帰国し、同車で初の新規運転免許取得。同年、日本バリアフリー政策研究所を設立(翌年、東京都から NPO 法人として認可)。05 年上智大学博士後期課程修了。08 年 NPO 法人日本バリアフリー協会設立。以後、現在まで代表理事を務める。障がい者の音楽コンテスト「ゴールドコンサート」を主催しながら、執筆活動、講演などを行っている。

NHK 厚生文化事業団障害福祉賞 専門委員

東京大学大学院教育学研究科バリアフリー教育研究開発センター 協力研究員